

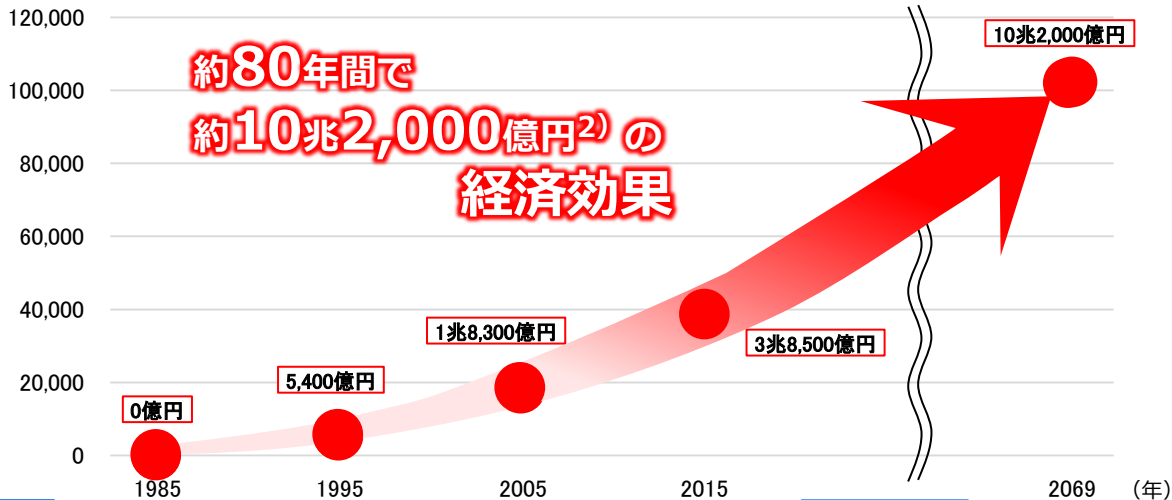
名古屋環状2号線の整備による経済効果

- 名古屋環状2号線の開通による経済効果は沿線・非沿線エリア¹⁾ に広がっている。
- 名古屋環状2号線の全線開通により、約80年間で約10兆2千億円²⁾ の経済効果が見込まれ、中京都市圏の地域経済の発展を促進。

中京都市圏への経済効果



経済効果の累積額（億円）



1) 沿線エリア：名古屋市（北区、西区、中川区、港区、守山区、緑区、名東区、天白区）、春日井市、東海市、大府市、清須市、あま市、大治町、飛島村
非沿線エリア：愛知県（上記の市区町村以外）、岐阜県南部、三重県北勢地域

2) 応用都市経済モデルを用いた試算で、設定条件に基づき1988年から2069年の82年間に中京都市圏にもたらされる現在価値化された便益の累積額。

※名古屋環状2号線の開通延長は名二環、伊勢湾岸自動車道、国道302号の合計値